



佐藤 まさたか 市政レポート

第100号
2023年4月1日発行
【発行】ちゃんと変えよう!東村山

平和な国、フェアな社会、人にも生き物にも温かい東村山を次世代に手渡すため、これからも全力を尽くします!

1票のチカラを信じて20年。お陰様で無所属を買いた活動を継続しています。

「人」と「信頼」

2003年の初当選から今日まで、正真正銘の無所属を貫き、「子ども」「障害者」「グリーンインフラ」「自治」といったテーマを柱に議会活動を続けて来られたのは、政党や大きな団体ではなく、お一人おひとりの1票のチカラだけを信じて、ひとつひとつの課題と向き合い、当事者の声をとことん聴き、外からもたくさん学んできたからだと思っています。ありがとうございます。

2期目からは、旧態依然の議会を「もっと働き、市民に信頼される議会」に変えなければ未来は無いと考え、全国の先駆的な取組みに学び、志を共有できる議員たちと力を合わせて議会基本条例を実現(2014年)。公務としての議会報告&意見交換会を3か月ごとに9年間継続し、のべ1,500人以上の方にご参加いただきました。ネット配信や傍聴しやすいルール改正もリードし、全国50以上の議会の視察を受けてきました。

政党・会派の別なく、全国で地方自治の前進、議会改革に奔走する議員、自治体職員、研究者と繋がり、切磋琢磨できていることが私の原動力であり、財産です。



「子ども」と「環境」

子どもや若者を大人になる中途の存在として扱ってきた日本社会が、今年4月1日の「こども基本法」施行を機に大きく変わろうとしています。「子どもは生まれながらにして大人と同じく主権者。その声を真剣に聴いて政策に反映を」と議会で投げ掛け続けて20年。今、東村山市もようやく具体的な仕組みづくりに動き出しました。

学生時代から20年余り、社会教育や保育の分野で子どもや若者たちと共に活動してきた実感と、全国のキーパーソンとの繋がりを十分に生かして、このまちの未来を拓いていくために、これからも全力を尽くします!

また東村山の貴重な財産である里山の緑、動植物が息づく環境(グリーンインフラ)を次の世代に手渡していくことが、政治に携わる者の大きな責任だと考えています。市民グループや自治会が実施している北川や旧前川緑道の整備、たっちゃん池のかいぼり等に自ら参加を続け、声を聴き、議会での質問や提案に繋げて来ました。

応援します! 東村山市議会と言えば **まさたか**さん!!



北川正恭さん 服部香代さん 林晴信さん 前泊美紀さん 目黒章三郎さん 川上文浩さん 斎藤直子さん 田中健さん 小河光治さん 白井とおるさん 熱いメッセージはまさたかHPで!



3つのサイクルを回して 政策を実現した まさたかの 20年



4月23(日)日は
4年に1度の
市議会議員・
市長選挙

投票箱

しっかり聴く

自由参加のミーティングを125回開催

市政・市議会の最新情報を提供しながら、参加者から率直な意見を伺う自由参加の「まさたかミーティング」を定期開催。定例議会終了後と、ここ数年は審議予定の議案が出揃う定例議会直前にも開催しています。

コロナ以降はZoomでのオンライン開催も継続中。

問う&提案する

20年間一度も欠かさず議会で質問

自分の問題意識をベースに、ミーティングなどでいただいたご意見や、勉強会・視察で得た知見を後ろ盾に、議会で様々な質問や提案を続けてきました。定例議会は年に4回。20年間で80回の全てに出席し、一般質問68回、会派代表として10回の質問に立っています(残り2回はコロナにより質問中止)。

1回に複数のテーマを扱いますので、68回の一般質問では158のテーマを取り上げ、その内訳は「子ども・子育て」43回、「自治・情報公開・協働等」31回、「まちづくり・西口再開発・公共交通等」27回、「緑や環境」14回……と続きます。

自ら作る&伝える

市政レポート100号&SNS発信

市政・市議会の報告を自分でレポートにまとめ、自らポスティングに地域を歩いたり、駅頭に立ってお届けしたりして来ました。今号でちょうど100号となり、データが残っているバックナンバーは「まさたかHP」からご覧いただけます。

2006年に東村山市議会議員では初となるブログを開設して以来、現在までに計1,675の記事を公開してきました。SNSも日常的に活用し、古くはmixi、その後Twitter、facebook、Instagramでも日々情報発信しています。

..... 当事者と一緒に粘り強く取り組むのが“まさたかスタイル”

●保育の質を守る「独自ガイドライン」策定

20年前、不透明な開園手続きと基準スレスレの内容が大問題となった認可保育所計画。プロセスの改善と子ども・保護者が安心できる仕組みの構築を議会で求め続けて来ました。

これを受けて市は有識者の助言を得て「独自ガイドライン」を策定し、これを遵守することとしましたが、待機児解消を優先する中で有名無実化しているのも事実です。全国の保育現場で虐待等の問題が起きています。かけがえのない幼少期を過ごす子どもにとっての最善と、保護者にとってのよい保育とは？ 今後も問い続けます。

●「情報は市民のもの」と条例に明記

2006年からの東村山駅西口再開発事業をめぐる、情報公開と説明責任に後ろ向きな前市政を追及。住民投票による決着を呼び掛け、18,000余の署名を添えて条例案を提出。1票差で否決とはなりましたが、直後に「公開と参加」を掲げた現市長が誕生し、「自治基本条例(正式名:みんなが進めるまちづくり基本条例)」には、「情報は市民のもの」と明記されました。

●視覚障害者の安全対策実現

2011年、市内の秋津駅～新秋津駅間を利用する視覚障害の方たちから相談を受け、点字ブロックの設置が難しい歩道の無い道での安全対策に、都や市と当事者を繋いで一緒に取り組みました。その結果、全国初のステップガイド設置が実現し、第11回マニフェスト大賞の最優秀政策提言賞を受賞しました。

2021年には「新しい東村山駅にホームドアを設置してほしい」と相談を受け、議会への請願のお手伝いをしました。請願は全会一致で採択され、市長が鉄道会社と交渉を重ね、昨年夏に設置が決まりました。

●開かれた議会へ! 全国レベルの取組みを牽引

「選挙の時だけカッコいいこと言うけれど何をしているのか見えない」「4年間白紙委任しているわけではない」といった議会への声に危機感を抱き、全国の先進的な議会へ単身出向き、大学教授らとも繋がり、価値を共有できる議員や事務局職員と共に立場を越えて東村山市議会の大改造に挑み、変えてくることができました。

佐藤まさたか

1963(昭和38)年 日野市生まれ/慶應義塾大学経済学部卒/社会教育、野外教育、保育、学童クラブ等、子どもの現場を中心に勤務後、政党や団体に属さない完全な無所属として5期目の東村山市議会議員/現・政策総務委員会委員、広報広聴委員会副委員長/全国の優れた政策実践に対して贈られる「マニフェスト大賞」を、4年間で3回受賞

市政や議会へのご意見、ご相談など、
どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。
「佐藤まさたか」で検索してみてください!
メールアドレス:
gachapin@sato-masataka.net



東村山市廻田町2-21-13 TEL. 042-398-5265

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)で配布したり、少しずつポスティングしたりしていますので、連続してお届けできなかったり、発行日から少し時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。